

予算決算常任委員会では、各会計を厳しくチェックし、慎重な審査を行いました。
委員から出された意見の一部を紹介します。



委 = 委員 市 = 市長または市職員

歳入

保育所運営費保護者負担金

- 委 現年度分収納率は100%だが、他の税と違う特徴は。
- 市 現年度のうちに収納することを最大の目的とし、単に督促状を送付するのではなく、未納者には園から直接声掛けを行うなど早期徴収に努めている。



市税全体の収納状況

- 委 滞納繰越分が大幅に減少した理由及び現時点からの減少のための対策は。
- 市 金融機関の預金口座等の照会がオンライン等で可能となり、財産を把握次第、債権の差し押さえ等の滞納処分ができるため、迅速に滞納整理が進むようになった。残りの繰越分約2億1,000万円も調査の上、徴収可能ならば早期に着手し、徴収不可能な場合は早急な判断により執行停止として整理を進めたい。

歳出

千丈寺湖畔再生プロジェクト

- 委 サウンディング型市場調査を行った結果及び今後の方向性は。
- 市 グランピング等のアウトドア事業の可能性が高いことや、インフラ整備等財政支援を期待する声が多いことを把握した。ハード面の整備は多額の財政負担を要するため、まずは、さんだまち博やモニターツアー等のソフト事業を中心に行っていく。今後、大阪・関西万博の機会を通じて千丈寺湖畔の魅力を発信するとともに、広く地域住民の意見を十分に伺い進めていきたい。

病院事業会計への支出金

- 委 繰出金の内容は。また、今後の見込みと減額理由は。
- 市 国が定める繰出基準に基づき、病院費及び高度医療分、救急医療分は保健衛生総務費から支出している。このほか、繰出基準外として病院経営安定化支援等に対する支出分と合わせ、令和5年度は約17億円繰出している。特に基準外繰出は市裁量のため、市当局と市民病院間で慎重協議の上、金額を決定する。減額については、現市民病院建設時の起債償還額^{ていげん}減等によるものである。現状厳しい病院経営への対応と市財政への影響等、バランスを考慮し、最適な支出額を判断していく。

バイオマスプラスチック使用ごみ袋導入

- 委 評価及び今後の課題や改善策は。
- 市 試行期間でのアンケート調査で、破れにくく通常のごみ袋の使用感と大差ないと高評価だったため、令和5年度後半より導入した。製造コストは通常のごみ袋より約3円高く、導入当初は、グリーン・クリーン基金の取り崩しを想定したが、想定より低コストであった。今後、全国的に使用が広がればコストも下がるため、動向に注意し、事業を進めていきたい。



フラワータウン再生に向けた活性化の取組・成果・課題

- 委 大きな成果と課題は。
- 市 新たに市民や民間事業者によるまちづくりを推進し、持続可能なまちづくりとするためにまちづくりプレーヤーの発掘育成事業に取り組み、既にワークショップ等多くの方が参加し、活動されている。課題は活動場所であり、令和6年11月オープンのエキマエアキチを提供していきたい。

緊急消防援助隊活動の今後の課題

- 委 令和6年1月に能登半島地震に伴い派遣されたが、同様の災害発生時に参考となることや課題は。
- 市 水道等のライフラインの復旧の遅れに難しさを感じた。また、孤立集落発生時の対策検討や、被災時の周辺市町を含め県外からの受援への備えが必要である。令和5年度末に受援対応の図上訓練を一度実施したが課題も多く、今後に向けた対策を進めたい。



今後の給食センターのあり方

- 委 今後、給食数の減少に伴い、ゆりのき台給食センターの増設など、給食センターを集約する計画はあるか。
- 市 児童生徒数の今後の動向や、老朽化する両給食センターの状況から、給食センターのあり方等について検討している。しかし、全ての食数を給食提供業者に委託することは難しく、食の安全の面から、学校給食は市の責任により提供すべきものと考えている。今後、市議会とも相談させていただく。



三田市休日応急診療センターの運営

- 委 患者数増や待合場所混雑への対策は。また、小児科医の確保は。
- 市 患者数に応じ、医師を通常の2名体制から3名体制への拡充等で対応している。また、令和5年度に車中でもスマートフォンで会計待ちの順番を確認できるシステムを導入した。小児科医の確保は、市医師会のほか大学等の協力により進めていきたい。

黒字決算の捉え方と今後の取組

- 委 黒字となっている一方、令和5年度当初予算の中で執行できなかった事業もあるが、どう捉えているか。
- 市 黒字額は、翌年度の補正予算財源として一定額必要だが、市民からの税金を当該年度の事業に活用し、市民サービスとして還元することも重要な視点であり、今後もバランスを取った執行に努める。
- 委 健全財政を堅持しているとのことだが、市民が必要とする事業に広く活用されたとは言いがたい。今後の取組は。
- 市 決算は健全である一方、当初予算においては、多額の基金取り崩しを行わなければ予算上の収支均衡が図れなかったため、幅広に十分な予算配分ができなかった。令和7年度予算編成に向けては、予算額と決算額の乖離を改善することで、市民が求める事業への予算配分が可能となるよう、現在、取組を進めている。

- 委 令和6年8月公表の財政構造改善（骨子）に、主な歳入増の取組としてふるさと納税の拡充とあるが、令和4年度と比較し、令和5年度決算では、件数及び金額とも大きく減少する現状をどう捉えているか。
- 市 ふるさと納税の拡充は、歳入確保の取組の一つであるが、令和5年度の寄附額減少を受け、返礼品拡充やSEO対策等の5つの改善策の実施により、増収に向け取り組む。また、財政構造改善では、歳出を減らす取組として、事務事業見直しや予算と決算の乖離の是正等にもしっかりと取り組んでいく。



説明

SEO対策：検索エンジン最適化を意味し、検索エンジンの検索結果で上位に表示させるために施策を行うこと